

高浜市やきものの里かわら美術館企画展

古代ペルシア展

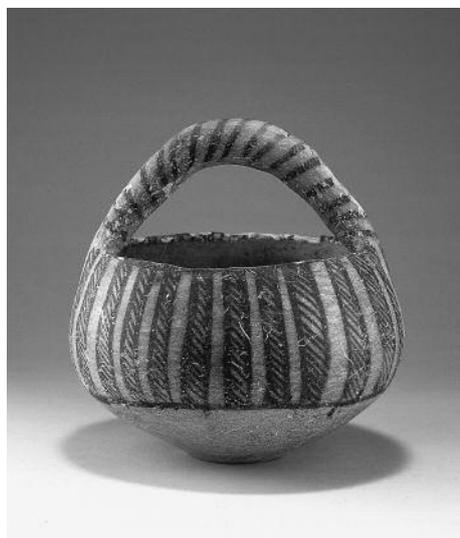
—シルクロードに栄えた工芸と王朝文化—

ペルシアとは、現在のイランの古代における呼び名です。

ペルシアは西アジアのほぼ中央に位置し、その風土は高原と砂漠からなる乾燥地帯が広がっています。石油やイスラム教がイメージされる土地柄ですが、メソポタミア文明とインダス文明との間で古くから栄えた地域であり、文明の十字路口としての役割をも果たしていました。

特に3世紀のササン朝時代の文化は、シルクロードによる東西の文化交流を通して、中国の隋・唐を中心とした東アジア文化圏の形成に大きな影響を与えました。その具体的な姿は、我が国の正倉院宝物として今に伝えられています。

今回の企画展では、土器・陶器・青銅器・偶像・武器・装身具などの考古資料をもとに工芸技術の高さや華やかさを紹介し、古代ペルシアの文化の伝統と独自性、往時の東西の文化交流について概観していきます。



褐色磨研彩文吊手鉢（紀元前4000年頃）

開催期間 4月26日(土)～6月8日(日)

観覧時間 午前9時～午後5時

(観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(5月5日は開館)、5月7日(水)

観覧料 高校生以上600円(480円)

中学生以下無料

※()内は前売り・20名以上の団体料金です。

※前売りは4月25日(金)まで県内サークル・サンクスでチケットを販売。

※4月25日(金)まで前売り料金、会期中は当日料金です。

関連行事

「2008年国際博物館の日」記念事業

◆連続講座「西アジア考古学研究室」

これだけ聴けば、あなたも立派な考古学者!?

	講師名	月日	演題
第1講	宮下佐江子氏 (古代オリエント博物館学芸課長)	4月26日(土)	ペルセポリス一兵(つわもの) どもが夢の跡一
第2講	浅野 和生氏 (愛知教育大学教授)	5月10日(土)	ビザンティン教会(トルコ・ゲミレル島)の発掘調査
第3講	森 達也氏 (愛知県陶磁資料館主任学芸員)	5月25日(日)	ペルシアのやきもの
第4講	井口 喜晴 (やきものの里かわら美術館長)	6月 7日(土)	シルクロードの東西文化 —ペルシア・ソグド・天平文化—

ところ 美術館3階講義室

※いずれも午後2時開始、聴講無料です。

※全講座を受講した方にはプレゼントを進呈します。

◆体験コーナー「気分はシルクロード！」

西アジアを中心とした民族衣装に着替えることができます。

ところ 美術館1階展示会場

※体験無料(ただし当日の観覧券が必要)、写真撮影可。

◆展示説明会「ペルシアン・キッズ」

小・中学生を対象にした展示説明会。美術館の裏側も見学できちゃうぞ!

とき 5月5日(月)

①午前11時～、②午後2時～

※各回とも1階ロビーに集合してください。

(同行の保護者の方は当日の観覧券が必要)

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366